インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名(フリガナ)			
フリガナ) センシュウダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) イチノミヤゼミナール	
専修大学	経営学部	一ノ宮ゼミナール	

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名(フリガナ)	代表者名(フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有·無)
フリガナ)エスアイエスチーム	フリガナ) タキモト マサル		
SIS チーム	瀧本 将	6	無

研究テーマ(発表タイトル)

大学生による大学生のための SIS シート

※必ずく企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要(目的・狙いなど)

私たちのゼミでは、独自の業界分析・企業研究ツール「SIS シート」を用いて、日ごろ多種多様な業界を調査・研究している。そのシートの特筆すべき点は、業界研究と企業分析が 1 枚のシートにまとめられていることである。ゼミの活動でこのシートの広報活動を行うことになり、就活の現状を調べたところ、大学生の 9 割が不安を抱えたまま就活をスタートし、また就活を終えた約 5 割の学生が「業界研究・企業研究」を後悔しているという結果が得られた。このシートで学生の悩みを解決することはできないだろうか、そう考えた私たちはこのプロジェクトを立ち上げた。

2. 研究テーマの現状分析(歴史的背景、マーケット環境など)

現在このシートはゼミ内で扱っているため、専門的(とくに会計的)な内容が多く、一般学生向けではない。このシートのままでは 広報活動を行っても、一般学生がシートの内容を理解することや、支持を得ることも難しいだろう。

また、今日、書籍やネット上には、多くの業界分析ツール、企業研究ツールがあり、容易に手に取ったりアクセスしたりすることが可能である。多様な業界分析ツールに埋もれてしまわないためには、「SIS シートならでは」という差別化要因を作り出し、アピールする必要性がある。

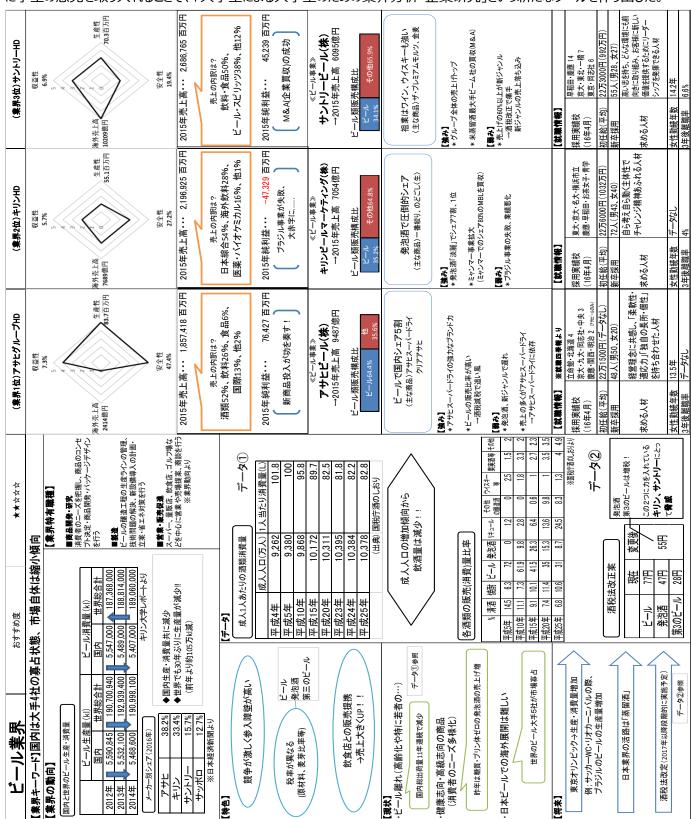
3. 研究テーマの課題

- ① 上記の現状分析から、まずシートの改良を行うことが不可欠である。専門的な情報よりも学生が、より内容を理解しやすいものにすべきであると考えた。
- ② また、「業界研究と企業分析が 1 枚にまとまっている」、「内容が理解しやすい」点だけでは独自性に欠けるため、新たな差別化要因を盛り込む必要がある。
- ③ シートを広めるうえで、ゼミ生のみでの活動では力不足であると考え、就活に際し多くの学生が利用する就職課との連携が有効であると考えた。さらに、学内だけでの広報活動だけでなく、他大学の学生もターゲットとするのであれば、他の手段も考えなければならない。

④ 今後この活動を続けていくとなると、SIS シートの作成・更新の手間がかかり、ゼミ活動との両立が困難であるために現実的ではない。

4. 課題解決策 (新たなビジネスモデル・理論など)

- ① まず、実際にシートを見てもらったうえでアンケートを取り、学生がほしい情報を抽出した。さらに従来、表で記載していた財務情報を会計の知識がなくてもわかるように、図にまとめ記載し、よりわかりやすく見やすいシートに改良した。
- ② 学生が使用している既存のツールでは、専門的な目線が強いため、情報をわかりやすくかみ砕いた形式にし、アンケートをもとに学生の意見を取り入れることで、「大学生による大学生のための業界分析・企業研究」という新たなツールを作り出した。



- ③ 実際に就職課との連携を取り付け、広報の手段を検討した。また生活課と連携し、学内掲示をすることで、より学生の目に 触れやすくした。さらに学外への PR として、ホームページの作成や SNS を利用した広報活動を行った。
- ④ 今までのゼミの活動とは独立したシステムを構築する。まず作成を容易にするために一般学生向け用 SIS シートのフォーマットを作成する。ゼミでの業界分析では、今まで多種多様な業界を扱ってきたが、それらをすべてカバーするのは現実的ではないため、就職課と連携し対象業界を絞り込む。また、シートの作成は就職活動が本格化する前に公開できるよう、ゼミの夏合宿で行う。以上のような流れであれば、持続可能である。

5. 研究・活動内容(アンケート調査、商品開発など)

就活生の現状をもとに、専修大学生(2~4年生672人)を対象にアンケート調査を行った。「現在、就職活動に向け独自に業界分析をしているか」という質問に対し、18%の人がはいと答え、82%の人がいいえと答えた。また、「今後、この SIS シートを利用したいと思いますか」という質問では、85%の人がはいと答え、多くの支持を得ることができた。

SIS シートに対する評価の調査では、「文字が小さくて分かりにくい、内容が難しい」といったマイナスの意見もあったため、それらを参考に改良を重ねた。

その改良したシートの普及活動のために就職課との意見交換を行い、提携にも前向きな意見をいただいた。

6. 結果や今後の取り組み

今後は 4-④で説明をしたシステムの構築を実際に行う。まず初めに新たなフォーマットと制作マニュアルの作成を行う。また、それと同時に就職課との連携として、シートのサンプルの設置や広報活動を進め、SNS やホームページを活用したソーシャル PR も進めている。

7. 参考文献

・キャリアパーク! 就活

https://careerpark.jp/77171 (最終閲覧 2016 年 6 月 30 日)

・株式会社ディスコ「2015年度日経就職ナビ 学生モニター調査結果」(2014年4月発行)

http://www.disc.co.jp/pressrelease/detail/15monitor_201404-1768.htm(最終閲覧2016年6月30日)

・株式会社リクルート「就職ジャーナル」

http://journal.rikunabi.com/student/souken/souken_vol116.html(最終閲覧 2016 年 7 月 1 日)

・デジタルナレッジ

https://www.digital-knowledge.co.jp/archives/7679/ (最終閲覧 2016 年 7 月 4 日)

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

- ※本企画シートは審査の対象となります。
- ※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。
- ※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、 A4 サイズでプリントし、3 ページ目までをお渡しします。
- ※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HP などに発表されていない)ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。
- ※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。